



門川小
HPへ



「QRコード」は、株式会社デン
ソーウェーブの登録商標です。

校長室通信

～ ハートフル門小 ～



令和6年度 第10号（令和7年2月14日発行）

R6教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成 ⇒ 「知恵いっぱい・心いっぱい・汗いっぱい」

始業日(1月6日)の朝の出来事から思うこと… ~当たり前のやり取りが大事~

毎学期最初の1週間は、職員が交通量の多い交差点等に立って、朝の校外指導(交通安全+あいさつ指導)を行っています。3学期の始業日の朝、校外指導から戻ってきた職員が開口一番に、「**子供が一人しか通りませんでした！**」と報告。普段なら数十人が歩いて通るような場所なのに、たったの一人？

まさか感染症による欠席者多数か…とも考えましたが、そうではありませんでした。“久しぶりの学校”+“雨天”+“冷え込んだ朝”という条件が重なったため、車で送ってもらった子供達が多くなったようです。学校としては、『徒步通学』を奨励したいところですが、悪天候や体調不良、学校までの距離、家庭の諸事情、不審者情報…等も考慮すれば、送迎が必要な時もあると思います。しかし、「親が送ってくれるのが当たり前」と子供に思われてしまうくらいの連日の送迎は行き過ぎかな…とも思います。

始業日の前夜、多くのご家庭で「明日は久しぶりの学校だから早く寝なさい。雨も



降りそうだから、早く起きて準備してね。」とお声かけいただいたことと思います。

親子でのそういう当たり前のやり取りこそが、大切な気気がします。

継続は力なり！

～2025年好スタート～

1月27日の全校朝会では、この1か月間、新年に立てた目標を継続して頑張っている子供達を何組か紹介しながら、みんなで「継続は力なり」という言葉の意味を確認しました。気持ちを新たに頑張っている子供達やクラスが増えてきており、とてもよい1年のスタートダッシュが切れていています。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| ●朝のあいさつ運動に参加する1・2年生が増えた。 | ●朝の読書に静かに取り組む子供やクラスが増えた。 |
| ●毎日遅刻して来ていた子たちが早く登校するようになった。 | ●掃除の時間が少しずつ静かになってきた。 |
| ●廊下や多目的ホールで暴れる子が減ってきた。 | ●朝のボランティアに取り組む5年生が増えた。 |
| ●ランチョンマットが全員揃えられるようになった。 | ●自学（宅習）を頑張る子供が増えてきた。……など |

令和7年度の「教育課程」を検討中！

～子どもたちのためにどうなのか～

学校では12月頃～3月にかけて、次年度の「教育課程」の編成作業を進めています。児童や保護者、教職員を対象としたアンケート調査(12月実施)や、学校運営協議会委員の皆様の学校評価(2月実施)等の結果も参考にしながら検討を進めています。実際には、教務主任(本校では山田敬一)が中心となって編成作業を進め、職員会を月1～2回のペースで開いて、全職員で協議しながら進めています。今、どのようなことが話題に挙がり、職員会で協議しているのか、簡単にご紹介します。

「教育課程」とは？

学校全体の年間の大きな「時間割(カリキュラム)」のことです。行事の時期や規模、当日までの準備や練習時間等について検討したり、各学年・各教科の授業時数を月ごとに計算して年間の授業時数を確保したりして編成ていきます。

- ◆個人面談は、今年度(4月末：希望者[1年生のみ全員]、夏休み前半：全員)と同じようなスタイルでいいか？
→ 1学期末の通知表がなくなったので、その代わりとして夏休み前半に全員面談をする今の形がよいのでは…。
→ 夏休み前半は多くの研修会や出張等があるので、夏休みに入る前の7月前半に全員面談するのがよいのでは…。
→ 7月前半または夏休み前半に全員面談を実施しても、すぐに夏休みを挟むため、面談した効果が薄い…。
→ 5月末～6月初めに全員面談をするのがよい。児童の状況をしっかりとつかんだ上で面談ができ、面談後も学校や家庭での指導に生かせるのでは…。

◆午前中5時間授業がいいのか、午前中4時間授業がいいのか？

- 午前中5時間だと1・2年生は年間総授業時数を大幅に超える。集中力等を考えても午前中4時間の方が…。
→ 午前中5時間だと朝のスタートがバタバタする。給食を食べるのも13時頃になるので、午前中4時間の方が…。
→ 午後の授業が少ないと出張に行きやすく、翌日の授業準備等の時間も確保できるので午前中5時間がいいが…。
→ 午後の授業が2時間あると集中力がもたない。家庭科や図工等、2時間続きの学習がしやすいメリットはある…。

◆運動会は半日開催か、全日開催か？

- 団技もダンスも学年リレーもとなると半日では…。体育の授業時数も大幅に増える…。<他、略>

◆清掃は週2回で足りているのか？(行事等の影響で週1回の時も)

- 今まででは、ゴミやほこりが気にならない子供達を増やしてしまう…。<他、略>



上記は、多くの学校で、毎年のように時間をかけて協議している懸案事項です。「保護者の願い」や「教職員の働き方改革」といった視点も大切にしなければなりませんが、最終的に決定する際の判断基準は「子どもたちのためにどうなのか？」ということです。各種行事等で、万人の希望を叶えることは困難ですが、様々な考え方や立場の人気が少しでも納得できるように折り合いを付けながら最善策を見つけていくことが大切と考え、これから教育課程編成の最終仕上げをしていきます。